




事業実施報告

事業名	水都大阪 2009 市民企画プログラム「水辺の社会実験」(水都大阪 2009 実行委員会主催) 「川の風景 ～淀川水系と地域のつながり～」		
日時	2009年9月19日(土)・20日(日) 10:30～17:00		
場所	大阪市中心公会堂 第4会議室		
概要	<p>一般公募により集められた琵琶湖・淀川流域圏の水辺にまつわる写真やスケッチを絵葉書(ええはがき)に加工して展示し、川の映像の放映とともに、流域圏の水辺を紹介。水辺に関わる活動する人たちだけでなく、一般の人にも「水辺と地域のつながり」「川と人のつながり」を再認識してもらえる機会となるよう目指した。同時に、BYnetの紹介資料を自由に持帰れるスペースを設け、水辺に関する市民活動のネットワークづくりの場とすることも目的とした。</p>		
実施結果	<p>2日間で300名以上の来場者があり、「意識して見るとおもしろい」「大阪にも美しい川の風景があることが分かった」「珍しい植物の写真が見れた」「スケッチが素晴らしい」「解説を聞いてよかった」といった好意的な感想を聞くことができた。映像は大阪の川や堰など“水都大阪”にまつわるものを3種類放映したところ、「勉強になった」「堰のしくみがおもしろかった」という感想をいただいた。</p> <p>BYnetの紹介資料として冊子2種類を設置したところ、多くの方が手にとって読まれ、200冊ほぼ全てが持ち帰られた。また、作品を応募いただいた方同士が同じタイミングで居合わせ、“川の風景を描く”という新たなつながりが生まれた。</p>		
資料	<p>会場のようす</p> 	<p>新たなつながりの誕生</p> 	<p>広報チラシ</p> 
ふりかえり	<p>反省点としては、事前の公募案内が遅れたため、応募者が少なく、一人の応募者の複数の作品を展示することになったこと、短い応募期間のなかでは作品の傾向(美しい風景写真)が偏る結果となってしまったことが挙げられる。今後の事業では、事前準備としての広報の取り組みにもっと重点を置く必要がある。</p> <p>今回「作品を発表する場がない」という理由から応募された方が複数おられた。「水辺に興味を持ってもらう」「琵琶湖・淀川流域圏を知ってもらう」という視点からも、今後はアート(ええはがき)というアプローチによるネットワークの拡大を視野に入れた事業展開の可能性が見えた。</p>		
担当		澤(事務局)	